

所蔵作品展

没後 50 年 中村研一の制作 — 日常風景とともに —

● 展 覧 会 概 要 ●

展覧会名：所蔵作品展

「没後 50 年 中村研一の制作—日常風景とともに」

会期：2018年3月27日（火）～5月13日（日）

会場：小金井市立はけの森美術館 東京都小金井市中町 1-11-3

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

休館日：毎週月曜日、5月1日（火）

<4月30日（月・振替休日）は開館>

観覧料：一般 200円 小中学生 100円

*未就学児および障害者手帳をお持ちの方は無料

※5月13日（日）は中村研一の誕生日（5月14日）

を記念した無料観覧日

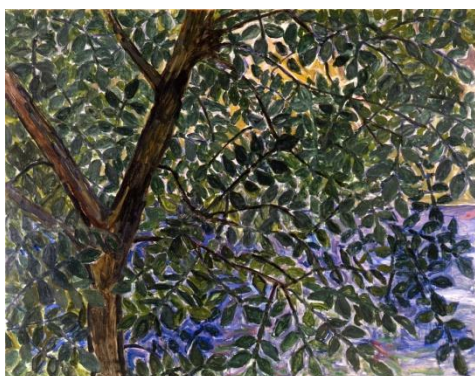
主催：小金井市立はけの森美術館

デザイン協力：東京学芸大学 正木賢一研究室



《花を生ける》1963年

● 企 画 概 要 ●



《木陰》1963年

日本近代洋画壇を牽引する画家として活躍した中村研一（1895-1967年）。戦後まもない、1945（昭和20）年の12月、50歳で小金井に移り住みました。自然豊かなこの地を愛した中村は、最晩年にいたるまで精力的に創作活動を行います。それまでの作品に見られたモノトーン的色彩は影をひそめ、近郊の風景から影響を受けたようにも思われる、明るい色彩へと画風は変化を見せました。さらに、花を生ける妻、陽光に包まれた自宅の庭、器に盛られた果物など、身近な人物や風景、静物をモチーフにした作品が多数生

み出されます。これらの作品からは穏やかな雰囲気とともに画家の温かな眼差しが感じられます。中村にとって、かけがえのない日常風景は 創造をはぐくむ場であったといえるのではないのでしょうか。本展覧会では、所蔵作品の中から小金井移住後の作品を中心に、画家の日常風景を探ります。

● 関 連 企 画 ●

〔イベント〕

1 ギャラリートーク

担当学芸員が展覧会の内容や作品について解説を行います。

①2018年4月14日(土) 14:00~14:30

②2018年5月12日(土) 14:00~14:30

※事前申込不要・参加無料(要観覧券)

2 ワークショップ 「親子で楽しむ工作の時間」

紙粘土を使って遊びましょう。造形を楽しんだり、色をつけたりしながら、小さな作品を作ります。

日時：2018年3月31日(土) 14:00~16:00

講師：こどうちぶんこ ことりのへや

定員：20名(多数抽選)

対象：5歳以上(未就学児は保護者同伴)

参加費：無料(観覧券不要 ※展示をご覧になる方は要観覧券)

申込方法：お名前(参加者全員分)・年齢(学年)・電話番号・返信先(Eメールアドレス・FAX番号・住所のいずれか)を明記のうえ、下記までお申込みください。

[Eメール]s030999@koganei-shi.jp [FAX]042-381-5281

[郵便(往復はがき)]〒184-0012 小金井市中町1-11-3 小金井市立はけの森美術館 [申込締切]3月28日(水)必着

※1通につき3名までのお申込みとさせていただきます。

※個人情報イベント参加の連絡以外の目的には使用いたしません。

※Eメールでご応募する方は、当館からのメール(koganei-shi.jp)が受信できるように設定をお願いします。設定できていない場合、メールが届かない場合がございます。



《花》1960年



《静物》1955年

本展をメディアでご紹介いただける際には、本状および展覧会チラシ掲載の作品画像1~4(JPEG形式)をメール添付にて貸し出します。

また紹介メディアの読者プレゼント用に、本展招待券を提供いたします。枚数はご相談ください。